

レジメン名

Ph陰性ALL維持療法①(under25)

出典 JALSG ALL202

実施部署区分

入院
 外来
 処置

対象疾患

Ph陰性ALL(15歳以上25歳未満・CNS陰性・陽性*)

進行・再発
補助療法(術前・術後)
初発

投与減量の基準

6MPは、白血球数が2,000 - 3,000/ μ lになるように投与量を調整する。維持開始時WBC<2,000/ μ lであれば半量で開始。2週後 \geq 2,000/ μ lで規定量、2週連続 \geq 3,000/ μ lで25%増、<2,000/ μ lで半量とする。 アロプリノール使用時は半量に減量する
--

1クール期間 42日

(次のクールまでの標準期間)

総クール数 1.5.9.13
コース

* 陽性例に関しては5.9.13コース

投与中止の基準

ANC	500/mm ³ 未満	PLT	5万/mm ³ 未満
その他			

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
メトトレキサート(メソトレキサート)	150mg/m ²	輸液100mL	1時間	d1、15、29
6-メルカプトプリン(ロイケリン)	50mg/m ²	経口		d1-28
メトトレキサート(メソトレキサート)	12mg/body	髄注		d29※
ヒドロコルチゾン(ソルコーテフ)	25mg/body	髄注		d29※
シタラビン(キロサイド)	30mg/body	髄注		d29※
※髄注は1サイクル目から3サイクル目まで施行し4サイクル目には施行しない				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ホスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1、15、29 ①グラニセトロン3mg/バッグ(30min) ②メトトレキサート150mg/m ² +輸液100mL(1hr) ③生食50mL(フラッシュ)
d29 ①メトトレキサート12mg+生食2-6mL(髄注) ②キロサイド30mg(髄注) ③ソルコーテフ25mg(髄注)
<内服> d1-28 ロイケリン50mg/m ² 内服 分1眠前